

その他の廃棄物処理業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 故 の 型	労働者 規 模
2017	1	8～9	駐車場内にある洗浄槽で保守点検を行っていた際、しゃがんだ状態で槽内を点検していた所、左側面より社員の乗用車に当たられ、左半身に前輪が乗った状態で停止した。異変を感じた運転者が降車し、確認したがパニックになり、他の社員を呼びに行き、その社員が車を移動させたが、その際に前進で移動したため半身を轢かれた。	52	231	6	100 ～ 299
2017	1	10～11	可燃ゴミを回収中、運転席より下車した際に道路と側溝の段差に足を取られて捻ってしまい、右足を負傷した。	55	417	19	30 ～ 49
2017	1	11～12	積みかえ保管所で、廃棄物を積み下ろし中、1mくらいの高さの荷台から廃棄物が置いてある床に降りた際に右足をひねり、右足かかと上が関節靭帯損傷・右腓骨骨折を負った。	45	221	1	10 ～ 29
2017	1	9～10	空き缶、ペットボトル収集のため、停車した後、車両に歯止めをして、集積所へ向かう際にマンホールのフタに左足がつまずいた。マンホールのフタは元々、少し浮いた状態であり、2～3歩よろけて前のめりに倒れた際に、両手を地面につき、右肘を痛めた。	58	419	2	—
2017	1	8～9	燃やせるゴミを収集の為、ゴミステーション内でゴミ袋（1袋容量20?用、重さ5～6kg）を両手に2袋ずつ掴み、中腰の姿勢から立ち上がる際に腰部に激痛を感じ、動けなくなった。	42	921	19	50 ～ 99

2017	1	14～ 15	第一工場内でペットボトルプレス品を、パレットに積み込み作業中、ポケット（装置）に溜まったカスを清掃しようと思い歩行移動中、床面に露出した配線につまずき転倒した際、装置のレールに腰を打ち、左大腿骨頸部を骨折した。	66	351	2	30 ～ 49
2017	1	10～ 11	サンバー車で回収してきた小型金属等を、バツカンに移し替える作業に従事中、バツカンが満杯になったので、少し離れた場所に置いてある空のバツカンを取りに行こうとした際に、水溜まりで足を滑らせ転倒し、左肘を打撲した。	50	416	2	50 ～ 99
2017	1	9～ 10	プラごみ積み込作業中、持ち出し場所とパッカー車までの間をごみを持ったまま往復し積み込んでいた際、プラごみと同時に出されていたダンボールが見えなかったため、つまずき転倒した。	57	911	2	100 ～ 299
2017	1	14～ 15	普通ごみ収集中、被災現場に集められていたごみを収集するため搭乗していた車両から下車しようとして左足を地面に着地させる際、勤手席座席から地面までの高さを見誤り、バランスを崩し滑り落ちる様に左足踵から地面に着地した。更にその状態で外側に倒れ込もうとする体を支えようと左足を踏ん張ったため、自身の体重による負荷が左足脛にかかり、左足脛を負傷し、歩行困難となった。	46	221	1	100 ～ 299
2017	1	15～ 16	倉庫内でダンプ（2tロング）から不燃物をフォークリフトのパレットに積んだ後、パレットからフォークリフトづたいに降りる途中、バックレストに両手で掴まりフォークリフトのタイヤとのカバーに右足を掛けたとき、フォークリフトに掴まっていた手（手袋着用）が滑り、高さ約80cmのタイヤ上のカバーから地面につま先より落下し、右足アキレス腱を断裂し、転倒した。	57	222	1	10 ～ 29
2017	1	7～8	洗車場で車を洗う際、地面が凍っていることに気づかず、転倒し、左手で支えようとしたが間に合わず、体ごと落ちた。	50	417	2	50 ～ 99
2017	1	6～7	客先ゴミ置き場において、廃棄物の回収を行っていたところ、廃棄物積み込み時に腰に激しい痛みを覚え、立てない状態になった。な	25	611	19	100 ～

			お、以前より腰痛はあった。				299
2017	2	10~11	旧発泡減容棟と受入用コンテナの間を通り、ペットボトル減容棟に向かう途中、路面が凍結しており左足を前方に滑らせ右膝を痛打した。	64	719	2	50 ~ 99
2017	2	18~19	事業主の資材置場より、鉄スクラップをトラックで運搬している途中、サイドミラー越しに、荷台から鉄スクラップがはみ出ていることに気付いた。場所は公園運動場近くで、道路が駐車禁止ではないことを確認の上、その道路上でトラック荷台にのぼり、鉄スクラップを荷直ししている際、その鋭利な部分に触れ、右手を負傷した。	46	521	8	1~ 9
2017	2	15~16	一般廃棄物収集運搬の他に堆肥化処理後の堆肥の配達をしている。堆肥0.5?の袋をユニック車に積み込みしていた。堆肥袋にフックをかけ、その上からジャンプして降りた際にプラスチックのパレットが割れて左足がパレットの中に入ってしまい、左足首を捻挫した。	43	379	3	50 ~ 99
2017	2	9~10	ゴミ収集車でゴミを回収する作業を終えてクリーンセンターに到着し、収集車に積んだ生ゴミを空ける作業に取り掛かろうとした際、トイレに行きたくなったためにトイレへ歩いて向かっていたところ、鉄製の排水溝の蓋に足を取られてバランスを崩し、左足を負傷した。	61	417	2	30 ~ 49
2017	2	11~12	可燃ごみ収集作業中、ごみ集積所で排出してあるごみを収集車へ積み込んでいた。ごみを手に持ち、積み込みをしようと収集車へ向かう際に集積所と道路の境目にある段差に右足を乗せて捻ってしまった。右足の内側部分に強い痛みを感じ、体を支えられなくなり、前かがみに倒れ込みうずくまった。怪我したことを相方社員に伝え、収集車に乗って勤務先へ戻った。	44	418	19	—
2017	2	11~12	アームロール車のコンテナに積まれた鉄くずを降ろす作業中、後方アオリの3枚扉の上部を開け、下部を開けようとストッパーを外した際、積荷による外力で扉が勢いよく開き、押さえていた左手薬指の尖部を扉と下部ローラーに挟み尖部を切断した。	47	221	7	—

2017	2	9~10	個人宅において、浄化槽清掃作業中、作業用ホースを上部へ引っ張り上げたところ左後頭部と左下腿に痛みが発生し作業継続困難となった。負傷した部位のリハビリ通院をしながら業務を行っていたが、負傷部位をかばいながら業務を続けたところ、両肘に痛みが発生した。リハビリ通院を続けたが、回復しないため、手術による治療をとることとなった。	52	379	19	~	29	10
2017	2	15~16	床から50cm位の高さの作業台の上に立ってプラスチック容器の選別作業をしていた時、台の上に散らばった物を拾う為に屈んだ際、バランスをくずし台から落下した。その際、顔面と右腕を強打し、顔面裂傷と右腕骨折となった。	73	391	1	~	29	10
2017	2	11~12	家庭ごみの収集作業中、両手にごみ袋を持ち、パッカー車に投入しようとした時、こぶし大の石が、道路際に転がっていることに気付かず、踏んで右足を捻挫した。	40	523	19	~	99	50
2017	2	9~10	敷地内にて、トラックへ廃棄物を積み込み飛散を防ぐシートをかける作業を行っていた際、バランスを崩しトラック荷台から地面へ落下し頭部を負傷した。	55	221	1	—		
2017	2	10~11	信号の無い交差点で優先される道路を北から南進している時、一旦停止を無視して東から西進してきた軽トラックと接触した。負傷し受診したところ頸椎捻挫、腰椎捻挫、胸腹部打撲と診断された。	42	221	17	~	99	50
2017	2	10~11	ゴミ収集の作業で、ステーションへの移動の際左側にある溝蓋の鉄板が外れて左足を踏み入れてしまい骨折した。	67	417	2	~	29	10
2017	2	10~11	巡回したところ、コンベア内側に異物があった為取り除こうと手を入れてしまい巻き込まれた。	28	224	7	~	49	30
2017	3	11~12	瓶等の分別作業をしていたが、右手中指に激痛がはしった。左手薬指をかばいながら仕事をしていたが、しばらくして左手親指・右手	49	529	19	~		10

			中指にも軽度の痛みとつりを感じはじめた。					29
2017	3	0~1	第一工場内の選別ラインにて、休憩前清掃時にコンベアに異物が巻き付いていないか確認中、コンベアの下方にあるコンベアリターンローラーに粉物が付いていたので、スクレーパーで除去していたとき、コンベアを停止しないで作業をしていたため、回転していたローラーに右腕が巻き込まれ手首を骨折した。マニュアルでは、清掃するときは機械を停止してから作業するようにとあり、就業開始時も指示しているが、今回は機械の電源を切らないで作業をしてしまった。	27	224	7		10 ~ 29
2017	3	12~13	市の粗大ごみ回収の作業中、処分する自転車をトラックの荷台に積むため、トラック後部に設置してあるパワーゲートを下げて、そこに自転車と労働者が乗り、もう1人が操作ボタンを押して上昇させたが、安全確認が十分でなかったため、トラック荷台とパワーゲートのすき間に労働者の左足（長靴着用）がはさまり、すぐにパワーゲートを下げたが労働者の左足甲部を損傷した。	71	221	7		30 ~ 49
2017	3	9~10	一般不燃物（丸太、長さ40cm~50cm、太さ直径25cm位）を塵芥車に積み込み中、左手中指を挟み骨折した。	62	522	7		10 ~ 29
2017	3	17~18	駐輪場の路上にて自転車を1台回収作業しようとした際、靴の裏に油が付着しており、足を滑らせて転倒した。そのときに近くにあった自転車のハンドルに右側胸部を打ちつけた。	32	239	3		50 ~ 99
2017	3	8~9	取引先において不燃物収集の際、持ち上げた袋に入っていた割れたガラス片が運ぶ途中に右足ふくらはぎに当たり、約5cm程肉をえぐる形で切った。割れたガラス片として、個別包装も表記もされていなかった。	49	529	8		50 ~ 99
2017	3	16~17	運転席から降りる際、左手でハンドルを握り右手で乗降用の手摺を握りステップに足をかけて降りようとしたところ、手が滑ってバランスを崩し、そのまま地面に転落し、頭部・肩・背中を打撲した。	59	231	1		100 ~ 299

2017	3	13~14	ゴミ（段ボール）ヤード内で、段ボールの回収作業中、ラックに入っている段ボールを取っている時、勢い余って段ボールが右目にあたり負傷した。	51	529	4	10 ～ 29
2017	3	14~15	可燃ごみを収集中に車両から降りる際、足元にあった段差で足を捻り負傷した。	52	417	3	50 ～ 99
2017	3	10~11	当社リサイクルセンター内にて、ドライバーが回収してきた廃棄物（ビン缶類）の入った袋を分別するため作業台へ運んでいる途中、誤って台車に足を引っかけてしまい、左体側を下にして台車の上へ乗った状態になり、台車ごと横転した。左太もも付け根付近に強い痛みがあったが作業を続けたところ、痛みがさらに強くなった。	69	362	2	50 ～ 99
2017	3	15~16	会社ガレージ内にて、10tバキューム車両（大型車）よりホースをおろし、洗浄作業中、ホースに躓き転倒して左足をひねった。	41	229	2	10 ～ 29
2017	3	11~12	資源ごみ収集作業終了後、洗車場にて自動巻き上げリールより洗車用ホースを伸ばしていたところ、予期せぬ時にホースが自動巻き上げリールに勢いよく巻き取られ、ホースに左手を添えていたため左手拇指をホースがこすり、左手拇指を負傷した。	56	911	8	100 ～ 299
2017	3	9~10	取引先にて産業廃棄物の積込作業をしている際、バランスをくずしてコンテナの上部より転落し、左大腿骨転子部を骨折した。	64	221	1	30 ～ 49
2017	3	7~8	可燃ごみを収集していたところ、左折してすぐの場所に可燃ごみが1袋出ていた。助手席を降りてドアを閉め右足を一步踏み出した時に、乗っていた車の前輪タイヤに左足（踵）を巻きこまれた。	28	221	7	30 ～ 49
2017	3	3~4	燃えるゴミ収集作業中、被災者は、ゴミ置場より両手にひと袋ずるゴミ袋（約20kg）を持ち、パッカー車の投入口に右から左へ上体を捻りながら投入したところ、腰に激痛が走り腰部を負傷した。	33	611	19	50 ～ 99

2017	4	8~9	土場にて解体作業の金物を片付け中、誤って手を滑らせ厚さ5cm程度の鉄板に左手薬指を挟み、安全手袋を履いていたが左手薬指先端（第一関節から上）を負傷した。	75	521	7	1~9
2017	4	14~15	作業中に激しい痛みがはしり、我慢しながら仕事を終えたが、筋肉が癒着し炎症が起きてると診断され、安静に過ごした。仕事に復帰後、収集車から降りることも困難となり、骨折であると判明した。原因は、日々の車の乗り降りや疲労ではないかと思われる。	53	417	3	100~299
2017	4	9~10	ゴミステーションで、ゴミの収集作業のため駐車している塵芥車の荷台に向かう途中、舗装道路と砂利の段差で足を挫いて負傷した。	49	911	2	10~29
2017	4	10~11	路上にて容器包装プラスチックを収集する為、集積所に塵芥車のハザードランプを点灯させ停車した。収集作業を開始しようとした時に後方から来た乗用車に追突され、首から腰を痛めた。	34	231	17	50~99
2017	4	9~10	当社工場に於いて、銅板（幅3cm・長さ20cm・厚さ3mm）に付いているネジを削り取るために、銅板をプライヤーではさんでサンダーで削っていた際、誤って右手親指がサンダーに触れてしまい、親指外側を負傷した。	70	153	8	30~49
2017	4	11~12	事業所1Fの紙の破砕処理室において、段ボールに入った書類を取り出し、鉄製容器に入れる作業中、中身の入った段ボール箱（50×60×H20金具の取手付き）が8段に積まれている状態の最上段（パレット込みの高さ170~180cm）の箱を取る為に左手をのばし、金具の取手に指をかけて引っぱったところ、指がかかった状態で箱が落下し、重さに耐えかねて負傷した。痛みはあったがすぐ治ると思い、しばらく出勤したが治らず、後日に骨折が判明した。（段ボール重量10kg~15kg程）	47	611	4	10~29
2017	4	10~11	同僚とゴミの回収作業中、回収箱の中からゴミを持ち上げていたところ、同僚のゴミ袋が回収箱の蓋を支えていたひもに引っかかり、蓋がしまっしまい、倒れてきた蓋に頭を打った。	52	419	6	10~29

2017	4	19～ 20	帰宅の為、事務所内にあるL字階段を2階から1階へ下りる際、下から15段目から回転しながら転落し、全身を打ってしまった。	42	413	2	30 ～ 49
2017	4	8～9	被災地の場所で、家庭ごみ収集作業を行うため、集積場所に車を止め降りたところ、縁石上に足を降ろしてしまいバランスを崩し、右足首をくじいた。	31	417	19	50 ～ 99
2017	4	11～ 12	プラスチック製容器包装の収集作業を行っていた。収集を終え大型プレス車に戻ろうとした際、道に落ちていた石を気づかずに踏んでしまい、道路が排水の為斜めに勾配していたこともあり、体勢を崩して左足をひねってしまった。その後、左足関節の大きな腫れと歩行困難な痛みがあった。	42	417	3	100 ～ 299
2017	4	13～ 14	住宅街の路上に排出された普通ごみを収集作業中、ゆっくりと走行していた作業車の運転手から車に乗るよう促され咄嗟に向きを変えた時、舗装状態の悪い路面の段差に左足をとられ、左足首を外側へ捻った。	50	416	19	100 ～ 299
2017	4	13～ 14	事業所内のトラックの荷台で作業中、地面にあった木材の上に転落し、左腰と背中を打った。	50	221	1	10 ～ 29
2017	4	23～ 24	蒸気タービン発電機室において、タービン停止後、冷却のためのターニングモータとギヤ嵌合を自動で行う工程中、嵌合ができないので手動で行おうとハンドルを差し込んだところ、突然ハンドルが回転し、左前腕部に当たった。	37		7	50 ～ 99
2017	4	10～ 11	ダンボールの回収作業中にダンボールで足が滑った為、右手より転倒し、重量のあるダンボールを持っていたため足元が滑り転倒した。	55	611	2	10 ～ 29
2017	4	8～9	可燃ごみ収集中、左足を軸足として作業していたが、足元の段差で滑ってしまい、体ごと左側に倒れた。痛みはあったものの捻挫だと	39	417	2	50 ～

			思い作業を続けたところ、指先までしびれだした。				99
2017	4	5～6	得意先の廃棄物を収集する為、パッカー車（自車）を道路左側に止め、助手席から降り、自車の前で自車後方（右）、対向車線（左）を確認して、対向車線を渡ろうとした時、自車後方から追い越して来たタクシーに自車右側の対向車線の歩道まではね飛ばされた。	24	231	17	30 ～ 49
2017	4	9～ 10	ドラム缶に入っていた真鍮ワイヤーを出荷用のフレコンバックに作業手袋を使用し移し変える作業中、フレコンバックからワイヤーがはみ出していたので入れ直そうと左手に力を入れてワイヤーを引き上げた際、ワイヤーで左手示指を切っけてしまい、左手示指を負傷した。	31	521	8	30 ～ 49
2017	5	16～ 17	弊社作業場で廃棄物の分別をしている時、重たい廃棄物を4つくらい持ち上げたところ、肩が痛くなった。その日は何ともなかったが、翌日に右肩がうっ血していた。	55	611	19	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	車線のない狭い道路で帰社途中、車で移動時に対向車を避けようとして田に落ちそうになり、慌てて右にハンドルを切り過ぎ、戻そうとしたら、運転していた車が横転してしまった。	58	221	17	10 ～ 29
2017	5	16～ 17	被災者は大型ゴミ収集場所において同僚と二人で木製棚を車に積み込もうと横に倒そうとした時、手が滑り、棚が被災者の右足に当たった。	31	911	4	10 ～ 29
2017	5	10～ 11	ゴミを収集していたところ、重いゴミを持ち上げた時に、急に腰が痛くなり、我慢して収集していたら、痛みがひどくなってしまった。	46	611	19	10 ～ 29
2017	5	10～ 11	廃棄物の回収現場で廃棄物を車輻に積み込む作業中、廃棄物の入った45?のビニール袋を両手で持ち上げなければならないところ、片手で持ち上げた時に右手親指を負傷した。	26	611	19	10 ～ 29
2017	5	9～ 10	ごみコンテナ置場で燃やすごみ収集作業中、コンテナを戻す際、運んでいたコンテナの金属バート置いてあったコンテナの金属バーに	51	391	7	50 ～

			右小指を挟んだ。				99
2017	5	8～9	コンテナの交換をユニック車のクレーンで作業中、雨で足が滑り荷台の上から落下した。	51	212	1	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	現場で2tダンプ車で廃棄物の収集作業を終了し、車両横（荷台外側）の梯子に上がり、荷台のあおりを固定するストッパーを外そうとした際、足を踏み外して約150cm落下し、踵から着地して強打した。	42	221	1	100 ～ 299
2017	5	8～9	一般道でゴミ回収委託業務中に、靴が合わない状態で走りゴミを回収したところ、右足に激痛がはしり、立つことができなくなり倒れた。	54	921	19	30 ～ 49
2017	5	9～ 10	寮のゴミ集積所内で、コンテナの底のゴミを取ろうと前のめりになった時、コンテナバーの鉄の部分に右肋骨を強打した。その日は打撲程度と思い仕事を続けたが、痛みがひかず、右の第九肋骨骨折が判明した。	55	419	3	100 ～ 299
2017	5	13～ 14	2tトラックにて粗大ゴミの回収作業をしている時、積み終えて扉を閉めた際に親指を挟み骨折する。両開き扉の右側を閉じる時に、左側が半開きになっている状態で左手を添えたままで閉めた為に起きた。	54	221	7	30 ～ 49
2017	5	10～ 11	書類ごみの収集中、荷台の上で、ビンを専用の網かごに積み換えを行っていた。網かご中のビンを均そうとして、かごの中に右手を入れたが、割れたビンに気が付かなかったため、右手掌を切ってしまった。	29	529	8	—
2017	5	8～9	ごみ収集作業をするため、運転席から降りる際に右足から降り、次に左足を着地させようとした時、地面の状態が悪く左足に体重がかかり足首を捻ってしまった。	36	229	3	100 ～ 299
		9～	ごみ収集中に道路のくぼみに左足が入り捻った。翌朝、腫れて痛み				50

2017	5	10	がひかなかった。	25	417	19	～ 99
2017	5	15～ 16	構内において、休憩中に階段を下りていて足を滑らせて転倒し、その際に左足の太もも外側を打ちつけて肉離れを起こした。	42	413	2	30 ～ 49
2017	5	15～ 16	収集した大型ゴミを処理施設へ搬入する時、前処理機（破碎機）にゴミを投入するためバック誘導を行い、収集車両の荷台後方扉の右側フックを外し、左側フックを外したところ、開いていた扉が右膝の上に当たり負傷した。	24	221	6	50 ～ 99
2017	6	9～ 10	し尿収集作業を終え、汲取りホースを持ちバキューム車へ戻る時に、玄関前の階段を踏み外し、左足をひねり転倒した。	38	413	2	100 ～ 299
2017	6	11～ 12	当社工場内トラックスケール横にて、歩行者（ケガ人）とフォークリフトで運搬中の雑誌を入れた鉄かごが接触した。リフト部分を1m程上げていた為、鉄かごの下敷きになるような事故になった。運転手が工場よりリフトにかごを載せ、バックでトラックスケールに乗って計量し、左前方に進んだところ、工場内で作業が終わって歩いて来た歩行者に気付かず接触した。	62	222	6	1～ 9
2017	6	9～ 10	被災者は清掃工場へ燃やすごみを搬入後、次の集積所へ行く為、清掃車を運転していた。交差点で信号待ちをしていたところ、後ろから大型ダンプに追突された。追突の衝撃で首を負傷したため、救急搬送された。	51	221	17	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	被災者は燃やすごみ収集作業のため、清掃車左側座席に乗車していた。清掃工場へごみを搬入後、次の集積所に行く途中、交差点で運転手が車を停車させ、信号待ちをしていたところ、後ろから大型ダンプに追突された。追突の衝撃で首を負傷したため、救急搬送された。	46	221	17	100 ～ 299
			被災者は燃やすごみ収集作業のため、清掃車中央座席に乗車してい				

2017	6	9～ 10	た。清掃工場へごみを搬入後、次の集積所に行く途中、交差点で運転手が車を停車させ、信号待ちをしていたところ、後ろから大型ダンプに追突された。追突の衝撃で首と唇を負傷したため、救急搬送された。	45	221	17	100 ～ 299
2017	6	7～8	可燃ごみ収集運搬作業中、右大腿部を巻き込み板に、右上腕部を押し込みにそれぞれ挟まれた。車輛は、2tの塵芥車（回転式）であった。	47	229	7	10 ～ 29
2017	6	9～ 10	ごみ集積場所において収集作業中、掴んだごみ袋に割れたガラスが入っており、手袋ごと指を切り負傷した。	56	611	8	50 ～ 99
2017	6	9～ 10	ゴミ収集作業中、当社作業車の後部から車道に右足を出したところ、足を踏まれ、右足関節を負傷した。	38	231	17	10 ～ 29
2017	6	9～ 10	古紙・衣類収集作業中、片手に段ボールを持ち、前方の段ボールを取りに向かっていたところ、交通標識下部の歪曲している部分に左足が引っ掛かって転倒した時、咄嗟に右手を地面に着いたことにより、右手、右手首付近を負傷した。	60	417	2	100 ～ 299
2017	6	11～ 12	住宅地路上にて、可燃ごみ回収作業中、ごみを収集車に積み込む際に、ごみが重く右肩を捻った。	31	611	19	—
2017	6	10～ 11	一般家庭ごみ収集中、ごみ袋を持ち作業車に搬入する為、左側に足を捻った時、左足膝裏に痛みがはしった。その後、激痛になって作業が出来なくなった。	57	611	19	30 ～ 49
2017	6	6～7	塵収集場で作業中、塵が被災者の足に当たり、はずみで転倒した時に右腕を強打し、負傷した。	42	417	2	30 ～ 49
2017	6	10～ 11	ミニダンプカーを運転して、ごみの収集場所に向かう途中、信号待ちで停車していたところ、後方車両に当方車両の後部に追突され、	49	221	17	50 ～

			負傷したものである。				99
2017	6	10~ 11	ミニダンプカーの助手席に乗り、ごみの収集場所に向かう途中、信号待ちで停車していたところ、後方車両に当方車両の後部に追突され、負傷したものである。	44	231	17	~ 99
2017	6	15~ 16	団地内客先にて、廃棄物の収集運搬をする為、軽ダンプの荷台に上って作業をしていた。荷の積込みが終わったので、荷台上部から後向きに飛び下りたところ、下で作業していた同僚に接触し、足を捻って転倒した。	66	221	3	1~ 9
2017	6	8~9	個人宅の浄化槽の清掃中、浄化槽の蓋を洗い、横に置いて立ち上がった時、家の壁の雨戸下の角（この部分はコンクリート造り）に頭をぶつけ負傷した。	52	418	3	10 ~ 29
2017	7	14~15	リサイクルセンター内で、産業廃棄物の分別作業中、硬質ポリエチレンを切断するため、ディスクグラインダーを使用していたところ、材料を抑えていた左手が滑り、グラインダーの回転刃が左手人差し指と中指の第一関節付近に接触し裂傷を負った。滑り難いゴム製手袋を装着していたが、一瞬の油断が事故を招いた。	24	153	8	10 ~ 29
2017	7	16~17	会社敷地内の解体作業場で、軽トラックをフォークローダー（3t）で高さ約1.5mまで持ち上げてオイル抜きとタイヤはずし作業をしていた。その時、片側の方だけ前後のタイヤをはずしてしまったためバランスが崩れ、フォークローダーから軽トラックが滑り落ちてしまい、荷台のアオリ部分が左足首に当たり負傷した。	60	221	4	10 ~ 29
2017	7	14~15	養豚場で豚の死骸の回収作業中、回収用鉄箱からはみ出していた豚の足にロープを縛り、鉄箱に入れるため、トラックの荷台に乗りロープを引っ張ったところ、ロープが抜け、そのはずみで足を滑らせて荷台から落下し、負傷したものである。	43	221	1	30 ~ 49
2017	7	7~8	廃棄物契約先よりゴミを回収し、それを両手に持ち、パッカー車に戻る際、急いでいたため、左右を確認せず車道に降りたところ、進行してきた車両が漫然と運転していたため、発見が遅れ衝突転倒し	36	221	17	~ 100

			た。				299
2017	7	10~11	集積所において資源物（ビン、カン、ペットボトル）の収集作業中 ビンの入っているカゴの中に割れた花瓶（不燃物）を取り出そうと した時右手人差し指の手の甲付近を切り負傷した。	40	529	8	30 ～ 49
2017	7	16~17	ビン選別中ビンについているキャップを外そうとしたところ、 キャップを回したと同時にビンが割れてしまい、軍手を二重にはめ ていたが、左手人差し指を切傷した。	68	521	8	50 ～ 99
2017	7	14~15	回収した資源物（ペットボトル）を処理施設に移送するため、飛散 防止ネットを装着する際足を滑らせてトラックの荷台から落下し、頭 と腰を打撲した。	50	221	1	50 ～ 99
2017	7	16~17	回収物を荷おろしの作業中、トラックの荷台後部より際下にあった 空き缶の入った袋の上に誤って降りてしまい右足をひねってしまっ た。その時に右ひざの靭帯を損傷した。当日は痛まなかったが、翌 日痛みがひどくなった。	49	611	19	100 ～ 299
2017	7	10~11	し尿処理場の汚泥ホッパー室で、コンベアのグリスアップ作業を実 施後、コンベア付近に置いた作業道具を片付けるために梯子を登っ たところ、足を滑らせ転落。床に強く左手を突き、また、床面に右 肩と頭を打った。	58	371	1	1～ 9
2017	7	8~9	路肩に設置した集積定点で、資源ごみ（缶、びん、ペットボトル） を収集作業中、ごみ袋の中に混入していた危険物（ガラス破片らし きもの）で、右手環指に切り傷を負ったもの。	51	529	8	50 ～ 99
2017	7	11~12	収集コース途中にて粗大ゴミ（木製テーブル）を収集時、パッカー 車の後部回転ばん作動中に木製テーブルを押し込んだ際、回転盤に 接触し右手親指と人差し指を負傷した。	59	221	6	30 ～ 49
2017	7	15~16	空き缶の磁送別作業中に、コンベアのゴムベルトとローラーの間 に缶が入り込み、それを取り除こうとして、左腕を巻き込まれベル トとローラーの間に挟み込まれ被災した。	25	224	7	10 ～ 29

2017	7	10~11	ミニダンプカーを運転して、ごみの収集場所に向かう途中、信号待ちで停車していたところ、前方の相手車両が後退してきて、当方車両の前部に追突され負傷したもの。	49	221	17	~	99
2017	7	13~14	草刈り業務の作業中に気分が悪くなったので休憩を取ったが良くならなかった。（当日は日常の作業と異なり慣れていないため暑さがこたえたように思われる）	50	715	11	~	99
2017	7	9~10	廃棄物の回収場所（敷地内）にて、廃棄物を回収するため収集車から降りた際、着地した地面のコンクリートが割れており不安定になっていたため、右足首を捻った。	37	416	19	~	49
2017	7	14~15	豪雨災害により、暗渠内で、土砂を強力吸引車にて吸引しながら撤去する作業中、吸引ホースを土砂に近づけようとした際、暗渠内が暗く、ぬかるんだ土砂で足を滑らせてしまい、バランスを崩して左腕を肩まで吸引された。	23	418	7	~	49
2017	7	11~12	工場内において駐車場入口のコンクリートの高さを電動ハンマでハツリながら高さを調整中に事故が発生した。被災者は、両手で持った電動ハンマ（縦約20cm×横約10cm・長さ約80cm）でコンクリート（縦約40cm×横約100cm・長さ約200cm）を破碎していた。その時、電動ハンマの刃先がコンクリートで滑って被災者の左足に当たり負傷した。	47	169	8	1~	9
2017	7	8~9	朝礼が終わり、仕事にとりかかるため持ち場につこうとした時、床に敷いてあるスノコに足が引っ掛かり、膝から床に倒れ、両膝を強打した。	65	417	2	~	299
2017	7	16~17	解体産業の作業場で、中古アルミサッシをハンドカッターで切断中に本体が跳ね返り、右手親指に接触して負傷した。	70	364	8	~	29
2017	7	10~11	団地内の可燃ゴミ回収業務に従事中、家具を解体した板の束（長さ2m、6枚）をパッカー車の回転盤の中に入れたところ、板が長かったため全て回転盤の中に入りきらなかった。残りを右足で蹴って押	64	221	7	~	100

			し込んだ際、回転盤に右足首を挟まれ負傷した。					299
2017	7	16～ 17	産業廃棄物の収集運搬をし、処分場で金属くずを降ろしていた所、右肩をひねった。その後トラックのあおりをはずしたさいに鉄屑が落ちてきて足に直撃した。	56	221	4		1～ 9
2017	7	13～ 14	当社車庫前において吸引者のフェンダーに上がりタンクの上にいる運転手兼作業員にハンマーを手渡そうとして背伸びをした瞬間に、足をすべらせて転倒しフェンダーにすえつけてあるホースハンガーに左わき腹をぶつけた。	39	221	2		30 ～ 49
2017	7	15～ 16	自社第2工場内において、クランプフォークリフトでキャスター付き容器を移動していた際に、左右から容器を挟もうとした瞬間、被災者が目に入らず、フォークリフトのアームに左足膝下部分を挟んでしまい負傷した。	56	222	7		30 ～ 49
2017	7	10～ 11	個人宅で粗大ごみの運び出し収集作業中、ソファを相方社員と抱えて後ろ向きに歩き出し、続けて敷地内を歩いているとき、自分の周囲の障害物を確認するため上半身を左側に捻ったところ、左の脇腹と背中と腰に強い痛みを感じた。多少痛みがあったが、ソファを車に積み込んだあと、車での移動中に、呼吸をすると脇と腰に強い痛みがはしり、我慢できなくなってきた。	31	529	19		50 ～ 99
2017	7	15～ 16	当社工場内において、廃品の渦巻き状態のケーブル（太さ20mm）を1.5m程の長さにカットする作業中の災害である。被災者が小型シャーリングで数本まとめてカットしようとしたところ、グローブをしていた右手が滑り、誤って右手小指の爪の部分から先を切断した。	73	156	8		1～ 9
2017	7	15～ 16	収集した廃ダンボールを処分場で収集車から排出する際、内部に挟まったダンボールを取り除くため、パッカーの安全棒につかまり、右足を車両に掛け、左足で弾みを付けて登ろうとしたところ、左足脛脛を負傷した。当人は職場に報告せず、独断で医療機関を受診	50	921	19		50 ～

			し、翌日以降は装具を装着しながら作業をしていた。後日、装具未装着で作業中に、負傷した左足脛の別の部位を負傷し、労務不能となった。					99
2017	7	9~ 10	リサイクルセンターで、粗大ゴミの破碎作業中、電動式丸形ノコギリを使用して、木材やプラスチック等を切断するとき、左手親指を切断した。	52	131	8		1~ 9
2017	7	10~ 11	ごみ収集中に、足を捻り転倒した。	51	921	19		50 ~ 99
2017	7	10~ 11	住宅街の路上に排出された容器包装プラスチックごみを収集作業中、走行車線の片側だけなので、同僚職員は車内に待機していた。前方には収集対象物がなかったので、作業車の内側から同僚が押し開けたドアを右手で掴んだとき、内側の同僚が乗らないものと判断し閉めたため、右手中指を挟み負傷した。	46	221	7		100 ~ 299
2017	7	16~ 17	中古自動車から取り外された部品の油汚れやサビ等を取り、磨く作業をしていたが、毎日ほぼ1日中その作業となり、指先に力を入れることが多いため、痛みと痺れで手が動かせなくなった。	46	921	19		50 ~ 99
2017	7	17~ 18	工場選別棟内にて、廃棄物選別後、仮置きしてあるダンボールを専用車両に積み込み中、ダンボールの後ろにあったドアに気付かず、ダンボールを取って後ろ向きになったときに、ドアが倒れかけて腰に当たった。	22	529	6		50 ~ 99
2017	7	1~2	可燃物収集作業中、被災者は、収集作業のためパッカー車の運転席より車外に降り（ステップから地面までの高さ41.5cm）、次の一步を踏み出したとき、右腰に激痛がはしり、腰部を負傷した。痛みを我慢して作業を続け、仕事終了後、自宅に戻り就寝していたが、夕方起きようとしたときに激痛で立ち上ることができず、救急車で運ばれた。	52	417	19		50 ~ 99
			会社の敷地内で荷物のおろし作業をしているとき、荷物リサイクル					1~

2017	7	8～9	品（モーター）が崩れ、左3・4指を挟んで負傷した。	53	612	7	9
2017	7	16～17	草刈カッター（機械）に草が絡んでいるときに、いつもならば電源を切って草を取り払っているところ、その日だけは電源を切らないで絡まっている草を取ったので、ベルトに右手小指を挟み怪我をした。	26	169	7	1～9
2017	9	11～12	廃棄物収集中、足を滑らせ横転し、腰を強打して動くのが困難な状況、ゴミ袋を集め車の投入口に入れる際、すべって腰から転倒した。	31	416	2	10～29
2017	9	9～10	ゴミ集積所において作業中、ゴミ袋を持ってパッカー車へ移動する時くぼみに足をとられ右足首を強くひねり負傷した。	43	417	19	30～49
2017	9	13～14	ごみ集積場所から、次のごみ集積場所へ向かって歩いているときに、つまずいて転び、右側に倒れて、右肋骨、右頬及び両膝を怪我した。	63	417	2	50～99
2017	9	11～12	粗大ごみの収集業務を行っていた。荷台に積んだ積荷の状態が気になり、もう一度車のステップへ足をかけ、手直しを行ったが、その車のステップから地上へ降りる際、右足から着地し、踵に損傷を負ったものである。	59	221	1	30～49
2017	9	10～11	当社契約先に於いて、バキュームカーでの汲み取り清掃作業中、車の位置を移動させる為に戻ろうとした時、汲み取りの為に蓋を開けていたマンホールに気が付かず左足を入れてしまい、バランスを崩して左側に転倒し、コンクリート床に強打して左上顎を骨折負傷、左くるぶしを切創負傷し、右膝横を打撲負傷する、また顔の左側を強打した際、左目が一時的にぼやけて見えるようになる。	50	419	2	10～29
2017	9	11～	可燃ごみステーションにおいて、可燃ごみを収集車に積み込むため、両足を踏ん張り、屈んだ状態で両手でごみ袋を持ちあげた時に、腰に電気がはしったように感じた、大丈夫だろうと思い、積み	23	611	19	100～

		12	込み作業を継続したが、最後のごみ袋（2～3個）をつかみ、投入口へいれようと体をひねったところ、「ビリッビリッ」と激痛がはしり動けなくなったため、病院へ行ったものである。					299
2017	9	14～ 15	廃油のゴミこし作業のため、廃油ゴミこし2Kタンクに網、廃油転送ホースを引掛け、ローリーへホースを接続するため廃油ゴミこし2Kタンク上から階段を使い下に降りた時、誤って下を通っていた別のホースに足がつまずき転倒した、その際、隣にある別の2Kタンクのつば部分に頭部を強打し、頭部額に負傷した。	33	416	2	1～ 9	
2017	9	15～ 16	環境課清掃業務班の非常勤職員である被災者は、午後にごみ収集の作業中、トラック荷台のアオリを開けた時に胸を強打した。	53	221	6	300 ～ 499	
2017	9	12～ 13	センターで、トラックに廃プラスチックを積み込んで荷締め作業中、トラックの横に立ちロープを積んだ荷に掛けた後、強く引いて締めているときに、手が滑ったため勢い余って後方に倒れ込み、背中、腰、頭を強打し被災した。	58	379	2	1～ 9	
2017	9	9～ 10	マンションの浄化槽のある場所で汲み取り作業をしている時に、バキュームホースがいっぱい有る所を、走っていて段差に足を取られ足首を挫いたものである。	41	417	19	50 ～ 99	
2017	10	14～ 15	ゴミステーションにて、ごみ収集作業中、不燃ごみで出ていたプラ衣装ケースを塵芥車に積み込んだ際、プラ衣装ケースについていたキャスターが飛んできて左目にぶつかった。	55	529	4	50 ～ 99	
2017	10	14～ 15	建設現場で、廃棄物収集作業中にトタンが袋に入っているのに気づかずにつかんでしまい、左手人差し指を切った。	46	521	8	10 ～ 29	
2017	10	10～ 11	作業場内でカレット（瓶）の選別作業をしているときに、瓶の入ったカゴを両手で持ち上げて、体の向きを変えようとしたところ、左膝がグキッと鳴った。痛みはあったものの、その後数日間作業をしていたが、痛みが増し受診する。	70	611	19	—	

2017	10	9~ 10	公園入口の車両止めの鍵を外しているときに、自車のサイドブレーキが甘く、またゆるやかな坂道だったため、車が前進し始めた。車両に背を向けて鍵を外していて又外しづらく手こずっており背後に気を使っていなかった。徐々に車両が当運転手の方へ進み、車両止めと車両に挟まれる様に当運転手に衝突した。	36	231	6	50 ~ 99
2017	10	15~ 16	段ボール回収作業中、強い風に飛ばされそうになった段ボールを手で押さえた際、プレスプレートと車体に右手甲が挟まれ負傷した。	41	229	7	10 ~ 29
2017	10	16~ 17	在庫センターにおいて、スクラップ集荷作業中に足元のスクラップの凹凸に左足がひっかかり、左膝から倒れたため左膝蓋骨を骨折する負傷をしてしまった。	67	417	2	1~ 9
2017	10	11~ 12	天井クレーンのバケット交換作業終了後、バケットから降りようとした際にバランスを崩し、6.5m下のピットへ転落。	50	211	1	10 ~ 29
2017	10	11~ 12	集積場所にて収集作業を行っていた。その集積場所では、普段からごみがポリバケツ（60?）に入っている状態であったため、収集する際にはポリバケツごと持って、収集車へ運んでいた。この日も同じようにポリバケツごと持って運ぼうとしたところ、ポリバケツの中に水が溜まっていたため（ごみに隠れて視認しづらかった）、持ち上げた際に腰に想定以上の負荷が掛かり、激痛が走った。	36	611	19	50 ~ 99
2017	10	10~ 11	引越作業中、廃棄物の入ったごみ袋を両手で3袋（右2袋、左1袋）を持ち、階段を下りていたところ、右足で持っていたごみ袋の端を踏んでしまい階段を2~3段踏み外した。バランスを崩しながら着地したため、右足を捻ってしまい負傷したものである。	39	611	3	1~ 9
2017	10	11~	集積場所にて収集作業を行っていた。収集現場にて、集積場所からごみを両手に持ち、収集車に運ぶために移動しようとしたところ、歩道にあった窪み（コンクリートがえぐれていた）に気付かず右足	45	416	19	50 ~

		12	がはまっていまい、そのまま自分の体重をかけて捻ってしまった。 その瞬間に右足首に激痛が走り、時間とともに腫れが酷くなってしまった。					99
2017	10	16～ 17	当社事業場内においてフォークリフトにアルミ缶を乗せる作業中の被災である。4t車からアルミ缶の入ったフレコン（袋）をフォークリフトのバケットに乗せる作業中、バケットを降ろした時に足を挟み、左足の親指と人差し指を骨折した。（左第1中足骨、左第2中足骨骨折）	20	222	7	～	10 29
2017	10	0～1	工場内フラフ圧縮機にて、圧縮ボールが柔らかい状態で排出された為、光電センサーの汚れが原因だと判断し、清掃作業を行うことにした。その際、光電ビームの通過穴からひも状のフラフが飛び出しているのに気づき、通常ならば機械を停止し飛び出したフラフは引き抜くことになっていたが、本人が注意散漫状態だったらしく、機械を停止せずに右手人差し指で、飛び出したフラフを通過穴に押し込んだ為、油圧上蓋側面と筐体の間に挟まれ負傷した。	33	169	7	～	100 299
2017	10	10～ 11	4tユニック車から荷物を降ろす際にユニック車の左側のアオリを降ろし、荷物の確認のため、右側の後輪に足を掛けて荷台へ乗り込もうとした。その際、ユニック車のタイヤ及び地面が濡れていたため、右側後輪に掛けていた左足が滑り、地面に左足から落下し、左ふくらはぎを負傷した。	48	212	1	～	10 29
2017	10	10～ 11	リサイクルセンター内にて、雨中で選別作業中に滑ってしまいひっくり返った際、金属資材の上に倒れて右足脛部の骨折及び右脇部の打撲をした。	33	417	2	～	10 29
2017	10	12～ 13	道路の路肩でトラックの荷台での荷物の整理を終えて、荷台の上から降りる際、とびおりて歩道と車道の段差に右足だけ着地して右足首を捻った。	37	417	3	1～ 9	
2017	10	8～9	ごみステーションで可燃ごみをパッカー車に積み込み、作業を終えて歩いてパッカー車の運転席に戻る時に、深さ約30cmの側溝に右足	54	418	2	～	50

			が落ちて転倒し、負傷したもの。				99
2017	10	9～10	可燃ごみの収集のためパッカー車の助手席に乗り、収集場所に到着してパッカー車が停止し、助手席からドアを開けて降りた瞬間に、運転していた職員が後方から来た車を避けるためにハンドルを左に切って発進させたため、右足が左前車輪に接触し負傷したもの。	55	229	7	50～99
2017	10	9～10	現場のごみステーションは積み込み位置が斜面になっており、可燃ごみ収集中に左足を滑らせ、そのまま左肩を地面に強打した。	41	417	2	50～99
2017	10	9～10	廃棄物を収集に入る際、進入防止チェーンを外し、車両が進入したのを確認後、進入防止チェーンを復旧した。自分が進入防止チェーンの横から入る時に足下のチェーンに引っ掛かり、転倒して右手を突いて骨折した。	55	419	2	1～9
2017	10	8～9	弊社内で、廃棄物が入った40cm角の段ボール2箱（合計重量約30kg）を、2t車から4t車へ積み替え作業中に腰を捻った。	52	921	19	30～49
2017	10	14～15	ごみステーションにおいて、家庭の可燃ごみを収集する作業中、可燃ごみが入った袋を車両に入れようとしたところ、袋内にコンクリート片（寸法約30cm×30cm×15cm、重量約4kg）が混入されていたためごみ袋が破れ、コンクリート片が落下して右足に当たり負傷した。	57	611	4	1～9
2017	10	7～8	社内駐車場で、高圧洗浄車へ注水するためタンク横のステップ（高さ1.5m）に足を掛け給水ホースを保持していたところ、バランスを崩して転落。左鎖骨を骨折した。	33	229	1	50～99
2017	10	4～5	可燃物収集作業中被災。被災者は、マンションのゴミ置き場よりゴミ袋を出そうと、ゴミ置き場のドア（鉄製）を開けたままの状態にするため右足で固定し、左足を曲げてゴミ袋を出す作業をしていたところ、左股関節に痛みが走り負傷した。	50	418	19	50～99

2017	10	15～ 16	駐車場において、営業の顧客訪問を終え、公園のトイレで用を済ませた後、休憩するためにしばらく腰をかけ、帰社するために立ち上がろうとした時、バランスを崩し、駐車場に飛び降りてしまった。その後、右足を先につき少し右側に捻ったため骨折してしまった。	61	419	3	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	処理場内において、バキュームカーの浄化槽汚泥を投入するために伸ばしていた排水用ホースに躓き転倒し、左手首を負傷した。	49	417	2	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	電縫鋼管製造ラインにおいて、内径ビードを機械で切断しやすくするため火ばさみで挟み補助する作業中、ビードが折れ曲がった状態で手前に振れ火ばさみを持っていた右手に当たり負傷してしまった。	62	221	1	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	新築現場にて、ペア硝子障子を荷下ろしし、2階に荷上げ作業をしている時に、左肩左上腕を痛めてしまった。	45	418	19	10 ～ 29
2017	11	13～ 14	新築工事現場でトラックの荷台の上にあるコンテナのネットを取る作業中、ゴミとネットで足を滑らせて荷台から落下した際に、左足を捻り足首付近を負傷したものである。	45	221	1	10 ～ 29
2017	11	10～ 11	4t車でゴミ収集作業中、車両の運転席側から降りようとして、道路と歩道との段差で右足首をひねり、負傷した。当日は痛みはあったが、そのまま業務に従事し、勤務終了後受診した。	39	418	19	10 ～ 29
2017	11	8～9	客先のゴミ集積所でゴミの収集作業をしている時に、重さ約40kgのゴミが入ったバケツをパッカー車に積み込む際に、次の収集先に時間を間に合わせようといつもより急いでいて、通常より力を入れて腰を踏ん張ったら、腰がグキッと痛めた。その日は痛みを我慢して仕事を終えたが、次の日痛みが治まらないため病院に行った。	35	921	19	30 ～ 49
			資源回収ゴミ（トレイ、発泡スチロール）置場において、近くに止めた2tトラックから降りて、資源ゴミの入っている球状の網袋（直				

2017	11	8~9	径約1m) を2個ずつ両肩に計4個を抱えトラックまで運ぼうとしたところ、バランスを崩し前方に転び右膝を道路のコンクリート面で強打し負傷した。当日は打撲程度と思い仕事を続けたが、翌朝右足がポンポンに腫れ歩行出来なくなり診療に及んだ。	50	417	2	10 ~ 29
2017	11	13~ 14	個人宅浄化槽点検作業中、マンホールを開け浄化槽のスラブ部分に躓き開口部のマンホール受けの部分に転倒し、両膝を打撲して左膝を負傷する。痛みが激しいので翌日受診する。	59	418	2	10 ~ 29
2017	11	9~ 10	特定業務従事者健康診断を受診するため、自宅から受診機関に向かう途上で、地下鉄の電車に乗車するために階段を下りていたところ、階段の最下段に着地した際にバランスを崩して前方に転倒した。その後、足を引きずりながら健康診断を受けに行こうとしたが、右足首と膝の痛みが激しかったため、勤務先に報告し上司の指示のもと病院を受診した。	56	413	2	50 ~ 99
2017	11	16~ 17	環境ごみ不法投棄収集作業中、足元の段差に気付かずに、段差を踏み外し、転倒した。地面で右脚を強打し、負傷した。痛みはあったがセンターに帰所後、動けなくなり救急車で病院を受診したところ、骨折が判明しそのまま入院となった。	56	417	2	100 ~ 299
2017	11	13~ 14	資源ごみ収集3回目作業中、軒下ごみを収集するため、収集車の右側後ろについて、積み込んで前には進む流れ作業をしていた。側溝をカバーしている鉄板に躓き、鉄板を固定しているビスで右膝を裂傷し、左膝を地面に打ち付け負傷した。	50	417	2	100 ~ 299
2017	11	8~9	ゴミ庫内において収集車をコンベアにセッティングする為バックの誘導をしていたところ、急にものすごいスピードで追突してきた。その時に左腕を収集車とコンベアの間に挟まれた。後に運転手に聞いたところブレーキとアクセルを間違っていたと言っていた。	54	221	18	50 ~ 99
			不燃物収集作業中に被災した。被災者は、マンション不燃物置場よりパッカー車へ不燃物を持って行こうと、上体を倒し左手に2袋 (1				50

2017	11	0~1	kg)、右手に1袋(10~15kg)を持ち上げた際、腰に痛みが走り負傷した。その後、腰の痛みを我慢し腰をかばいながら作業を続け、終業後受診した。	26	611	19	~	99
2017	12	7~8	出勤のため自宅を出て、職場である工場の職員駐車場に到着し、車を降り、前日からの雪で見えなくなっていた隣車との境界用の白線を確認しようと足で路面の雪を払っている際に、凍結した路面に足を滑らせ転倒し、胸・腕・腰等を強打した。	56	719	2	~	29
2017	12	9~10	路上にてごみの収集作業を行っている際に、当該作業員が平ボディ車の荷台に登り、積荷整理をしている最中に、作業員に気がつかず運転手が車両を発進させてしまい、地面に落下してケガを負った。	21	221	1	~	299
2017	12	11~12	弊社選別場にて、17?車のコンテナに混合廃棄物を積み込み作業中、トラックスケールで計量してみると、積載オーバーであったため、0.2?バックホーにて過剰分を取り除く作業を他の作業員にのみ、その作業中に、中身の確認をする為17?コンテナのはしごに登り、コンテナの中身が見え、バックホーのツメで掴んだ廃棄物の一部が左眼を直撃した(飛んできた)。不用意にコンテナ内を、どのくらいの量になったのか覗こうとしたのが原因である。	54	145	4	~	49
2017	12	15~16	当社第1リサイクルファクトリ作業場内において、当社従業員は、梱包製品の移動作業中、誤って足元の梱包機用のスロープ段差(数センチの高低)につまずき、前のめりに転倒した。そのとき身体を支えようと両手を床に着いたとき、手首を負傷したものである。	64	417	2	~	99
2017	12	10~11	取引先工場内にて、スクラップの引き取りの際、鉄箱の上に置いてある鉄板が邪魔で避けるときに、右手小指を鉄板と鉄箱の間に挟み骨折した。	63	521	7	~	29
2017	12	10~11	ゴミ収集作業中、パッカー車後部のゴミ投入口のゴミが多く、ゴミが落下しそうだった。両手で押さえた際、もう1人の積込み作業員がゴミを押さえていることに気づかず、積み込みボタンを押したため、回転板が動き、右手が回転板に当たり負傷した。	20	229	7	~	299

2017	12	7~8	ごみ置場においてごみ収集の作業中、足元のコンクリート段差を乗り越えようとした際、足が引っ掛かり、左足膝下をコンクリートの角で負傷した。	29	418	3	10 ~ 29
2017	12	14~15	ゴミの収集作業を終え、収集車は前方に徐行しながら道路へ出て左折し、次の収集場所へ向かおうとしていたところ、収集車後部にある投入口から数個のゴミが道路上へ落下した。両手でそのゴミを拾い上げて投入口に入れようとしたとき、踏み込んだ右足が道路と歩道の境にあるスロープ状のブロック部分にかかり、そこが下がっていたためバランスを崩して、右足首を捻り転倒した。	52	417	2	100 ~ 299
2017	12	13~14	ごみステーションにて可燃ごみの収集作業中に、ごみステーションの奥の方に出されていたごみ袋を取るため、左足を踏み入れてごみ袋を掴んでパッカー車にごみを投げ入れようとした際に、足元の板がごみの汁で濡れており、滑って左足を捻り、左膝に痛みを感じた。	55	713	19	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html